

石切り唄

瀬戸内海一帯は、良質の花崗岩をはじめ様々な石材の産出地です。讃岐には良質の花崗岩を産出する所が多く小豆島、旧木田郡庵治町、牟礼町、直島町、本島・広島がその主産地でした。このうち大坂城に使用された小豆島の巨石は、世に広く知られています。山から切り出された花崗岩はまず石の表面を平らに削る作業を行います。この時にも「石切り唄」が歌われます。同じ石切り唄でも、その作業種、土地に即した独特な唄となっています。

石材の仕事は、山で石を切り出す「石材採掘」、石垣を築く「石積み」、彫刻加工の3種類あり、いずれも鑿・玄翁・鑿などによる手作業によるものでした。山から石を切り出す仕事は、常に自然を相手にした過酷な労働環境の中での長時間にわたる重労働となる仕事です。その苦しさ、寒さや暑さを紛らわせるために、石を叩く音に合わせて一人が唄い、もう一人が合いの手を入れるという唄が自然に口ずさまれるようになりました。それが「石切り唄」という仕事歌の始まりです。

採石をする山にはいくつもの丁場があり、その丁場から石を掘る槌に合わせて歌われる石切り唄は、かつてはノミの高い音とともに、唄が石壁と山にこだまし、山裾の家々にまで聞こえてきたといわれています。「打っつけ」といわれる石切り唄は、石にくさびを打ちつける時に唄われます。この唄を聞くと当時の石工がねじりハチマキをして、力強く仕事(重労働)をしている様子が思い起こされ、情緒を感じることができるでしょう。



石丁場／石の民俗資料館蔵



香川豊島の石工／高橋克夫氏提供



道具(石切り)／瀬戸内海歴史民俗資料館蔵

石切り唄 歌詞

- 1、ヤレエー
かたい約束ヨー(ヨイヨイ ヨイヨイ)
石山ヨー寺でヨー(ヨイヨイ ヨイヤナー)
石の証文に金の印ヨー(ヤレコラヨーホーホーホー)
 - 2、ヤレエー
石や大工さんはヨー(ヨイヨイ ヨイヨイ)
たたきはヨー食べるヨー(ヨイヨイ ヨイヤナー)
たたきはずせば喰いはずすヨー(ヤレコラヨーホーホー)
 - 3、ヤレエー
何と書きましようヨー(ヨイヨイ ヨイヨイ)
仏生山のヨー山をヨー(ヨイヨイ ヨイヤナー)
佛生まれの山と書くヨー(ヤレコラヨーホーホー)
 - 4、ヤレエー
行たら見て来いヨー(ヨイヨイ ヨイヨイ)
名古屋のヨー城をヨー(ヨイヨイ ヨイヤナー)
金のしゃちほこ あまたらしヨー(ヤレコラヨーホーホー)
 - 5、ヤレエー
だんな大黒ヨー(ヨイヨイ ヨイヨイ)
奥様ヨーえびすヨー(ヨイヨイ ヨイヤナー)
一人ある子が福の神ヨー(ヤレコラヨーホーホー)
 - 6、ヤレエー
安芸の宮島ヨー(ヨイヨイ ヨイヨイ)
回れば四七里ヨー(ヨイヨイ ヨイヤナー)
七里七浦七えびすヨー(ヤレコラヨーホーホー)
 - 7、ヤレエー
花は千咲くヨー(ヨイヨイ ヨイヨイ)
成る実は一ツヨー(ヨイヨイ ヨイヤナー)
九百九十九はあだの花ヨー(ヤレコラヨーホーホー)
 - 8、ヤレエー
俺とお前はヨー(ヨイヨイ ヨイヨイ)
羽織のヨーひもだヨー(ヨイヨイ ヨイヤナー)
かたくむすんで胸にだくヨー(ヤレコラヨーホーホー)
- ※唄い手により歌詞が変わることがあります。

地つき唄 (道化祭の唄)

雨の少ない讃岐地方は溜池が多く、その数は一万六千にも及ぶと言われています。そのため溜池の築造作業、老朽化に伴う堤防修理や改造が、昔から数多く行われてきました。

今でも讃岐(香川県)のどの地域でも、溜池工事で地面を固める作業で歌われた「地つき唄」が残っています。地つき唄は溜池、河川の堤防の普請作業以外にも家屋の新築の時にも歌われました。作業内容によって、歌詞、早さ、節回しが異なります。

堤防を築くには、山から土を運び、鍬で水平にならし、そのあと大勢の人による足踏み作業が始まります。この作業から「地つき唄」が歌われました。足踏み作業が終わると丸棒で土を搗き固める千本搗の作業となり、唄にあわせて賑やかに作業が行われるのです。千本搗が数回行われると、杵づき作業になります。これは大勢の人が杵をもち、唄にあわせて土を搗く作業です。

この他の地搗き作業法に、たこ搗き(胴つき、石場かち)の方法があります。櫓を組んで中に太い丸太・石を吊るし、丸太に数本の縄をつけ棒を束ねた部分を通して縄は櫓を囲んだ多数の人々が手に持ちます。縄を引くと丸太や石が持ち上がり、縄を一斉に離すと丸太が落ちて地面を突き固め、これを繰り返すわけです。今回は、丸く扁平させた大石に数本の縄をつけ4人で音頭に合わせて落下させる作業をお見せします。この作業は長い工程と時間を要し、地つき唄はその作業にあわせて歌う唄で、その作業の種類によって唄と囃子(合いの手)は異なります。

高松市南部香川町では、溜池造りで功績のあった矢延平六を偲び「道化祭り」が今も開かれています。その祭りで歌われる矢延平六を讃える唄は地搗き唄としても歌われています。



満濃杵搗之図／香川県立ミュージアム所蔵



道具(タコツキ胴石)／瀬戸内海歴史民俗資料館蔵



道具(地搗き 杵)／瀬戸内海歴史民俗資料館蔵

地つき唄 (道化祭の唄) 歌詞

- 1、ヨイサアアヨ (一心コラマカシヨ)
高塚山には (コラシヨ)
矢延平六さんを (ドッコイシヨ)
神と祭りであるわいな
(シヨコホイシヨコリキヤノホイホイ)
- 2、ヨイサアアヨ (一心コラマカシヨ)
ここは坂下 (コラシヨ)
赤坂街道 (ドッコイシヨ)
大名行列堂々と
(シヨコホイシヨコリキヤノホイホイ)
- 3、ヨイサアアヨ (一心コラマカシヨ)
新池よいこ (コラシヨ)
宝の池よ (ドッコイシヨ)
道化祭もエーいさまく
(シヨコホイシヨコリキヤノホイホイ)
- 4、ヨイサアアヨ (一心コラマカシヨ)
鼻は高塚 (コラシヨ)
目は丸山よ (ドッコイシヨ)
文字は川内原エー嫁坂
(シヨコホイシヨコリキヤノホイホイ)
- 5、ヨイサアアヨ (一心コラマカシヨ)
白はおまんまは (コラシヨ)
お米のめしよ (ドッコイシヨ)
平六さんのエーおかげぞな
(シヨコホイシヨコリキヤノホイホイ)